

留 学 報 告 書

記入日：2013年1月24日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	華東師範大学 华东师范大学
留学期間	2012年9月～2013年1月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	対外漢語学院 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年1月11日
明治大学卒業予定年	2013年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月初旬～1月上旬 2学期：2月下旬～7月初旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	約32000人
創立年	1951年

留学費用項目	現地通貨 (人民元=RMB)	円	備考
授業料	0元	円	
宿舍費	20300元	約290000円	2012年9月時点とレートが異なります。
食費	8400元	約122880円	一食60元×140日で計算
図書費	0元	円	
学用品費	0元	円	
教養娯楽費	0元	円	
被服費	0元	円	
医療費	0元	円	
保険費	300元	約4300円	形態：入学手続き時に同時申込み
渡航旅費	3000元	約44000円	
雑費	0元	円	
その他	500元	約7300円	荷物輸送費として
合計	32500元	約475500円	

渡航関連

渡航経路：羽田空港（HND）～上海虹橋空港（SHA）

渡航費用

チケットの種類	往復航空券
往路	✕
復路	✕
合計	約 60000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

格安航空券サイト、スカイスキャナー。http://www.skyscanner.jp/

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

国際交流サービスセンター（大学内にある留学生寮兼宿泊施設）

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋（同居人数　　）

3) 住居を探した方法：

現地到着日に国際交流サービスセンターにて手続。留学前大学側とのやり取りにて滞在先を事前に決定（予約等は行ってない）。

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

【2人部屋の幻想に惑わされるな】

中山北路キャンパスの場合、ほぼ全員留学生専用の宿舎に宿泊することになります。その際、ルームメイトとなるのは、同じ日本人の場合と外国人の場合と様々ですが、トラブルはつきものと考えてください。消灯時間も人のペースによって違いますし、自分の生活リズムを守りたい人は、無理をせず一人部屋にするのも一つの手です。中にはお互いの外国人ルームメイトとうまくいかず、途中で部屋が変わるケースもありました。ルームメイトが途中で無断で退寮し、2人分の寮費を請求された日本人の友人もいました。もちろんすべてのケースにトラブルが発生するわけではなく、ルームメイト同士うまくいく場合もあります。日本人の友人の一人はルームメイトが華僑のマレーシア人で、母語の広東語のほかにも中国語が堪能であったため、一緒に生活することで授業で習う以上に中国語が上達しました。友人を作るのに、ルームメイトはあまり関係ないと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

 利用する機会が無かった 利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学先の友人（韓国人）。既に中国の他大学に留学経験があり、日本語にも堪能で生活していく中で困ったこと、わからないことをよく相談していた。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

外務省の海外渡航情報を頻繁に確認していた。反日で国民感情が盛り上がっているときは、外出を控えたり、外出する際は日本語を控えた。地下鉄や繁華街では常に貴重品の確認を行った。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

パソコンは日本から持ち込み。有線による部屋でのインターネットの接続は可能。時々モデムの状態が悪く全く接続ができないことがあった。中国は情報統制が敷かれており、facebook、twitter、youtube、一部 google のサービスが使用不可能。これらのサービスを利用する際は、明治大学の VPN 接続サービスを利用した。明治大学 VPN 接続サービス。http://www.meiji.ac.jp/mind/ssl-vpn/

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

新生銀行の海外バンキングサービスを利用した。PLUS のマークがある ATM なら銀行を問わず引き下ろしが可能。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

上海では食品を含めほとんどのものが手に入りますが、気分転換に読める日本語の本等を持っていくといいでしょう。

進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
明治大学就職キャリア支援センターの、OB・OGの閲覧資料をよく利用しました。
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
NTT コミュニケーションズ株式会社。日系企業の新興国戦略をサポートしたいと思ったため。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
留学したからといって就職に有利になるということはありません。特に3年次からの留学となる場合、帰国時期によっては留学することで就職活動に差支えが出る可能性もあります。普通の人よりも事前の周知な準備が必要となります。人と同じペースでは乗り遅れると思ってください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
0 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：留学時点で明治大学の卒業要件を満たしているため。)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
阅读	閱讀
科目設置学部・研究科	対外漢語学院
履修期間	2012年9月～2013年1月
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団授業(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が4回
担当教授	樊老师
授業内容	読解の授業。毎週単語テストがある。課題文の背景知識を前提にした、発表課題が多い。語学の授業のホームルーム、各種連絡もここでされる。
試験・課題など	中間、期末試験のほかに、毎週単語テストやプレゼンあり。履修した中で、最も課題の多い授業。
感想を自由記入	日本人と外国人で読解力に差が出ていると感じた。クラス分けをしても、会話と読解ではばらつきが出ることに注意。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
口語		口語	
科目設置学部・研究科	対外漢語学院		
履修期間	2012年9月～2013年1月		
単位数	1.5（下記報刊と合算して2単位）		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	集団授業（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が3回		
担当教授	何老師		
授業内容	スピーキングのメインにおいた授業。クラスメイトでグループをつくり、ロールプレイを発表するなど、クラスの雰囲気がいい授業。先生と学生も気軽に質問しあえる環境。		
試験・課題など	中間、期末は中作文と発表。先生との一問一答形式。日頃の課題は教科書の授業中に残った問題が中心。		
感想を自由記入	会話に重きを置いていることもあり、最も会話力がつく授業で個人的に最も参加し甲斐が合った授業。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
報刊		報刊	
科目設置学部・研究科	対外漢語学院		
履修期間	2012年9月～2013年1月		
単位数	0.5単位（上記口語と合算して2単位）		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	集団授業（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	何老師		
授業内容	新聞報道に特化した読解授業。中級コースより実施される。教科書にまとめられた報道を読み、問題を解いていく。閲読が中国文化理解に重きを置いた内容であるのに対し、こちらは時事ネタを扱う。		
試験・課題など	試験は教科書をベースにした文章と新出文章の2つ。課題は予習のみで負担が少ない。		
感想を自由記入	扱っている内容も個人的には親しみやすく閲読よりも読解力がついていく感覚があった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
聴力		聴力	
科目設置学部・研究科	対外漢語学院		
履修期間	2012年9月～2013年1月		
単位数	1単位		
本学での単位認定状況	0単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	集団授業（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	愈老師		
授業内容	聴力（リスニング力）を強化するための授業。授業の初めは Youku で先生がお気に入りの歌手の曲を紹介（たまにクラス全員起立で合唱させられる）教科書のリスニング教材をひたすら解いていく。		
試験・課題など	教科書内で扱ったリスニングテストがそのまま出題される。		
感想を自由記入	履修した授業の中では最も単調に進む授業である。先生は大学院の学生ということもあり、教え方もごちなく、アジア圏以外の出席する学生はきわめて少ない。私自身も基本的に出席を続けたものの、対して得られた内容のない授業であった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	1月。留学先決定。 就職活動本格化。
4月～7月	4月。志望企業の一つから内々定。就職活動を終える。 4年前期授業スタート。卒業に必要な残り単位を取得。 卒業論文執筆。同時並行で留学先情報集め。正直いってこのときは就活疲れ(?)や卒論、単位取得などに気を使いあまり語学の勉強に集中できていなかった。
8月～9月	8月上旬～中旬。内々定先企業の海外現地法人を回る(シンガポール、タイ、台湾)。シンガポール、台湾ではおもに中国語を使用し、留学前の口語のブラッシュアップ。 留学直前。日本にて留学最終準備に入るが、直前で慌ただしく座学は行えず。荷物準備で精一杯。 8月30日。予定より2日早く留学先大学へと到着。現地の知り合いに入寮手続および携帯電話購入を手伝ってもらう。 9月4日。入学手続及びクラス分けテスト。面接形式で簡単に実施。 9月10日。授業スタート。初めの1週間はクラス変更可能。 9月30日。中秋節及び国慶節期間中、東京にて内定式出席のため一時帰国。
10月～12月	10月4日。上海へ戻る。国慶節期間中現地の知り合いに江蘇省へ招かれる。 10月第3週末。友人と安徽省へ旅行。 11月第2週末。友人と浙江省へ旅行。
2013年 1月～3月	1月8日。一身上の都合により3日早く退寮手続き。 上海を離れる。1月10日、国際船フェリーにて大阪着。1月11日、東京の実家へ帰国。 3月卒業式(予定)